

今年は弟子訓練とNPOに取り組む！

祝☆2015年！本年もよろしくお祈りします！
皆さん、明けましておめでとうございます。今年もよろしくお祈り致します。そして、いつもお祈りとご支援感謝致します。

昨年は、11月号を発行したかったのですが、できませんでした。楽しみにしていた方はすいませんでした。今年こそ、年間6回発行をがんばりたいと思います。

さて、昨年を振り返りますと、「感謝」を学んだ1年でした。特に、感謝できないことに感謝することを学びました。聖書には、「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい」と書いてあります。子どもの頃は、「そんなの無理！」って思っていたのですが、今は「これはできるかもしれない」と

12月の大船渡でのクリスマススイベント。中央上にサンマクロース。



考えるようになりました。このまま、2015年は「いつも喜ぶ。絶えず祈る。」すら身につけていきたいと思えます。とりあえず、毎日笑うように日々努力を重ねています。

今年の目標としては、イエスさまが地上にいる頃大切にされていた「弟子訓練」というものを大切に実践したいです。これは、霊的な部分の話だけでなく、友達の人生に寄り添うことです。イエスの弟子と共に生き、共に乗り越える1年にしたいです。また、カフェを始めとしたNPO法人の運営にも力を入れ、新たなことにもチャレンジしたいと思えます。(目標は2枚目で詳しく)

CCMN サミットに日本から過去最多40人以上が参加

2014年11月にマレーシアでCCMNサミットが開催されました。今回は、日本からの参加者が40名を越え過去最多でした。サミットでは世界で起こっている問題や、宣教各地の報告を聞きました。また日本チームの集まりでは、宣教のムーブメントについて話し合いました。また個人的には将来、海外に宣教に行きたいという気持ちがより強くなったと同時に、今の東北の働きをよりいっそう頑張りたいという想いが強くなった時となりました。



【文章ばかりの特集】 聖書から見る、イエスの弟子の育て方

今回は今年の私の目標である、イエスの弟子を育てるということについて特集します。

皆さんは弟子訓練（弟子を育てる）と聞いて何を思い浮かべるでしょうか。ある人は「祈り方や、聖書の読み方を身につけること」や、「教会での奉仕ができるように訓練すること」と思い浮かべるかもしれません。たしかにそれは大切なことだと思います。しかし私の意見としては弟子を育てるとは、それだけではありません。また、何か悪いイメージ、カルトっぽいイメージを持つ方もいるかもしれません。実際、ネットで調べてもあまり良い意味の弟子訓練は出てきません。しかし今日この特集で述べたいことは、決して悪いものではなく、イエスさまが行った弟子訓練、弟子の育て方です。僕は2015年それを本格的に取り組みたいと考えています。ではなぜ弟子を育てる必要があるのでしょうか。マタイ28章16～20節にこう書かれています。「11人の弟子たちは、ガリラヤに行って、イエスの指示された山に登った。そして、イエスにお会いしたとき、彼らは礼拝した。しかし、ある者は疑った。イエスは近づいて来て、彼らにこう言われた。わたしには天においても、地においても、いっさいの権威が与えられています。それゆえ、がたは行って、あらゆる人々を弟子としなさい。そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを授け、また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい。見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。」

これらはイエスが天に昇られる前の最後の命令です。人や神を愛することも大切だと聖書に書かれています。弟子を育てることもすごく大切なのです。なぜならイエスの宣教活動をされた3年間、イエスは福音も伝えましたが、弟子も育てられました。しかし、今日世界中の教会で弱点となっているのが、弟子を育てるということだと思います。僕たちはイエスを愛するのであれば、イエスが大切にしていたことを大切にすることが大切です。そしてそれはマタイ28章に書かれていることを実践することだと考えます。このことが今の日本にとってとても重要だということを最後にふれますが、その前に実際イエスの弟子訓練はどういうものであったか、3つのポイントで書きたいと思います。

1番目に、イエスの弟子の育て方は、それぞれの人生の目的（召し）に向かっていけるように「共に生き、共に乗り越える」というものでした。イエスは弟子と共に食事をし、共に寝て、共に次の街へと歩かれました。危険な嵐の中の船旅も共に経験され、乗り越えられました。もちろん、祈り方も教えましたし、神さまの言葉の解き明かしもしましたが、それだけでなく生活全般のことを、人生の生き方のモデルとなってイエスは弟子たちに示されました。若者にとっては、弟子を育てるというのはドラゴンクエストのようなRPGゲームだと言ったらわかりやすいでしょうし、ドラクエを知らない方は、上下関係の無い水戸黄門だと考えたらいいと思います。つまり、「共に生き、共に乗り越える」と言いたいのです。

2番目に、弟子訓練は誰にでも出来るということです。誰でも弟子になれますし、誰でも弟子を育てることができると思います。実際、イエスは当時10代だったとも言われる若い漁師たちや、後に裏切るユダも弟子としました。これでだいぶ弟子となるハードルは下がります。もしイエスが、筋肉もりもりの戦士や頭のいい学者だけ弟子にされていたら、私には全く希望もありませんが、実際は「普通の人」を弟子としました。また「弟子としなさい」と語られた人の中には、17節にありますが、“疑う人”もいました。完璧な人だけに向かって「弟子を育てなさい」とイエスは言いませんでした。どのような人でも弟子を育てることは出来るのです。

最後に、イエスは全て意識的に弟子を育てる弟子を育てたということです。弟子を育てるためには、意識的に何をいつどのように教えるのか意識的に計画する必要があります。私たちは何も考えずに生きてると、弟子を育てることができません。また今育てている弟子がまた弟子を育てていけるように、意識して弟子を育てたのです。詳しくは聖書で。

まとめると、以上ようになります。私は、弟子を育てるというムーブメントが広がっていくと「日本で人に寄り添う人が増える」ということを期待しています。自分のことしか関心がないという内向きで、また孤独が多い日本社会において、お互いに切磋琢磨し合える関係は少なくなってきました。しかし、まず自分が弟子として生き、また弟子を育てていくことによって、この国の人間関係の回復が段々と広がり、新たな希望になりえると考えています。

【クロスローズトレーニング — あなたの人生の目的は何ですか？】

2014年12月1～9日まで和歌山県で行われたクロスローズセミナーに参加しました。今回の開催は国内初のセミナーでした。

クロスローズは、アメリカで経済的に困難を経験している人々が、自分の人生の目的を見出して、経済的に自立していくために開発されたトレーニングで、コロラド州政府に認められ、生活保護を申請する人は、まずクロスローズを受けることが義務づけられ、その結果多くの人々が生活保護を受けずに済むようになった、というものです。

セミナー自体は集中講義形式で、朝9時から夜9時まで休憩を挟みながらですが行われ、頭を使ったりずっと座ったりで疲れましたが、僕にとって素晴らしい時間となりました。クロスローズは日本語で人生の岐路という意味ですが、まさに人生の良い岐路です。クロスローズは、人生の中で聖書の価値観を基盤として、人生の目的や、前向きな生き方、健全な関係の作り方などを学びますが、学び自体には聖書の言葉などは使わないので、無宗教の人やイスラム教徒の人でも学ぶことができます。実際、世界では生活保護を受ける前の人や囚人、高校生、シングルマザー、福祉担当者、教師など様々な人が受けています。今回、私はクロスローズを他の人に教えることの出来るライセンスを取得したので、クロスローズを東北でどのように用いていくのかを、他の参加者やNPO団体で話し合っていきたいと思います。



主な活動報告	11月3～7日 CCMN グローバルサミット (マレーシア)	今後の活動予定	1月11日 活動報告@山口福音教会
	11月22～25日 CCMN 東北チームリトリート		1月18日 活動報告@アッセンブリー宇部神召キリスト教会
	12月21日 クリスマスイベント「サンマチ」(大船渡)		1月25日 活動報告@キリスト兄弟団下関教会
	1月7～8日 JCMN 新年会議 (大津)		3月20～22日 YDS キャンプ (大阪)

祈りの課題

- ・ 1月は山口県内各地で報告会をします。健康が守られ、報告会が祝福されるように。
- ・ CCMN 東北チームは教会名を付けました。「One Love Disciplers」という名前です。「一致・愛・弟子を育てる弟子になる」という意味です。どうか新しい教会の祝福をお祈りください。
- ・ エクレシアカフェの経営が祝福されるようにお祈りください。

髪を切りました

瀬 知行 山口県出身 平成元年8月9日生まれ 25歳 国内宣教師&保育士

瀬知行を支える会の住所: 山口県山口市大内長野 633-1

ブログ:「ともだちだよブログ」<http://blog.livedoor.jp/tomotomodati/>



支援献金の方法

私の活動は皆様の支援献金によって支えられております。経済的支援にご協力して下さる方はお手数ですが、以下のいずれかの方法で口座にお振込下さい。

ゆうちょ銀行口座番号：01350-2-99626 名義：瀬知行を支える会
 他行からの振込 店名(店番) 一三九(イチサンキュウ) (139)
 預金種目：当座 口座番号：0099626「瀬知行を支える会」
 郵貯振替口座番号：01350-2-99626 名義「瀬知行を支える会」

このコーナーって、多分誰も見ていないので、こんな「誰やねん写真」を貼っても支障はないと思います。

髪を切ってセンター分けにした「お墓について歌いそうなテノール歌手」「売れない田舎のホスト」みたいになりました。皆さんここ笑うところですよ！